

公益 社団法人 長井教育会

たくましくしなやかに ともに創ろう新たな歴史

長井市立長井北中学校



3年ぶりの職場体験



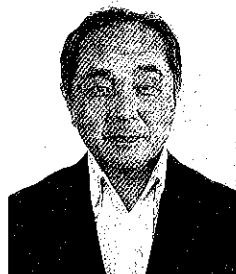
岩手・秋田方面の修学旅行



工夫を凝らしたコロナ禍の運動会

内 容

- 1 表紙 たくましくしなやかに ともに創ろう新たな歴史 長井市立長井北中学校
- 2 巻頭言 理事長 蒲生 直樹
- 3 令和4年度事業報告
- 4 長井教育会賞受賞者、奨学生の声
- 5 奨学生の概要
- 6 学校紹介 長井市立長井北中学校 校長 迎田 浩昭
- 7 会員名簿
- 15 お知らせ
- 16 入会のお願い



長沼孝三とふるさとの風景

公益社団法人長井教育会

理事長 蒲生直樹

平成二年、長井高校生を前にした長沼孝三の講演、「このごろ思うこと」の中に次の一節があります。

— それにしても、この長井の自然環境は、日本の中でも、最も恵まれたすばらしい環境であると、私は思っております。今日も向こうからずうっとやって来て、長井に入ったわけですが、あの西山の、連綿とした、葉山連峰の、あの山稜、山の流れ。「(服部風雪の詠んだ) 蒲団着て寝たる姿や東山」(のような) 長井の、この取りまく自然環境の、この大らかさ、豊かさ。これはもう本当に素晴らしい。—

長沼は様々な場面で、長井を取りまく自然環境の素晴らしさを語っていますが、ここで長沼の言う自然とは「ふるさと」と同義です。長沼にとってのふるさと、自分のいのちの源であるとともに、ここからからだを育み養ってくれた揺り籠としてのふるさと、そしてやがては帰るべきところとしての(望み通り長沼のこころは彫塑館の建設によって長井に戻ることに)ふるさとは、長井を取り囲む山々の風景と一体になって意識されています。

もともと、このような自然と一体となったふるさと観は日本人にとっては身近なものです。例えば唱歌「故郷」を思い起こし、啄木の「二握の砂」の歌を思い浮かべてみても、私たちがふるさとと言うことばから想起されるのはいつもふるさとの山河であり、思い出は「兎追いしかの山」や「小鮒釣りしかの川」に、啄木にあつては岩手山や北上川の岸辺に帰って行くのです。自然(nature)と分かちがたく結びつくふるさと。長沼にとってのふるさとは、長井を取りまく山々の風景そのものであります。

先の講演の結び近く、長沼は生徒たちに向かって次の様に言います。「(みなさんは)これから大人に、…社会人になって、そして、いろいろなことを長井に関しても思い出される時(に)、きつと『ああ、長井という所は、景色のいい所だったなあ』こう思われるはずですが、この景色のいい長井から生まれたみなさんです。みなさんの心の中にはたつぷりと、さつきからお話した豊かな心があるはずですが、これはもう理屈じゃありません、無意識のうち、みなさんの血液の中に、チャーンとありますよ。」

「長井」ではなく、「長井から」であつてみれば、つまりは、長井の風景が母親であり、命の母体ということになります。長沼は、長井に生まれ、長井の自然の中で育つた者の心の中には、自ずから豊かな心が備わっていると言うのですが、それでは長沼の言う豊かな心とはどういったものでしょうか。長沼は言います。それは、豊かな自然に囲まれた暮らしの中で育まれるやさしい心であり、あたたかな心であり、平和を愛する心である。とすると、この心は、長沼が書き記した「長井の心」そのものであり、長井小学校に設置された慈愛の像のテーマにも重なります。

長沼は、対談の中で、自分の作品を観た方からよく「あたたかいね」と言われるとし、次の様に言います。「そりやもうズバリ、私を生んだ長井地区があつたかいから。私は長井の地で、子供の時から教育され、そして私のものの考え方は、すべて長井の地区、自然から生まれた。だから当然私がつく作品は、あたたかい気持ちに感じてもらえる。それは当たり前のことなんだ。」

長沼は、彫刻家としての己の原点を、長井を取り囲む山々のおおらかな風景にあるとしました。長沼にとって、己が生まれ育つたふるさとの自然こそは、芸術家としての感性や想像力の源泉であり、目指すべき芸術の到着点でもあつたのです。

令和四年度事業報告

【公益事業1】 奨学金貸与事業

- 1 令和四年度の貸与について
貸与者総数 二一名
- 2 令和四年度の貸与金返還について
奨学金返還者 三九名
- 3 奨学生同士の交流
会報八七号に「奨学生交流の広場」を設け、交流を図つた。
- 4 奨学生OB等から奨学生への提言
二名の方から「特別寄稿」をいただいた。
- 5 令和五年度奨学生の選考
○新規貸与予定者 一〇名 五年度貸与者総数 二七名
○返還開始予定者 三名 五年度返還者総数 三八名
○奨学金貸与事業の周知活動
・ 置賜地区内の高校訪問を実施、ポスター・チラシ配布
・ ホームページで広報活動を実施
- 6 「山形県若者定着奨学金返還支援事業」の積極的な活用
本会から一名採用(応募一名)

【公益事業2】 教育文化事業

- 1 記念講演会 事情により中止
- 2 地区コミセン教育文化事業への助成
○中央コミュニティセンター(一月)
内容：交流センターふらり関係団体役員
研修会講演会
講演：地域おこし協力隊から見た長井の
魅力、地域との関わりについて
講師：長井市地域おこし協力隊員三名



中央コミセン

○致芳コミュニティセンター(十二月)

- 内容：第四八回明日の致芳を語る会
講演：致芳地区運動会なによすつべ
講師：文教大学教授 二宮雅也氏
○平野コミュニティセンター(十一月)

内容：第三八回平野地区文化祭

平小獅子踊り、史跡巡り、ドローン実演会他

- 3 市内中学校への教育研究充実に向けた支援(研究費の進呈)
○長井南中学校
研究主題：問いをもとに学びを深め、主体的に課題を解決する生徒の育成
子どもの学びの姿から考える
の育成
教科特有の見方・考え方を働かせた授業づくりをおして

○長井北中学校

研究主題：一人一人の確かな学びと豊かな心の育成

市立中学校と高等学校の優秀生徒への長井教育会賞の授与(四ページをご覧下さい)

- 4 市内中学校と高等学校の優秀生徒への長井教育会賞の授与
- 5 長井ビジネスチャレンジコンテスト支援(詳細は次号で紹介いたします)
- 6 西置賜地区英語弁論大会支援
参加者 中学生一四名 高校生六名

【会員拡大活動】

- 役員による長井市役所内の会員拡大活動
会員拡大活動にお力添えをいただいた役員・地区委員の皆様、関係者の皆様に御礼申し上げます。



平野コミセン文化祭

《奨学生の概要》

(1) 出身地別

(単位 人)

	中央	致芳	西根	豊田	伊佐沢	平野	計
OB	126	40	42	36	18	28	290
在学中	10	5	2	1	1	3	22
計	136	45	44	37	19	31	312

(2) 卒業後の動向

(単位 人)

	教員	医師	会社員	公務員	金融	医療	団体職員	主婦	自営	その他	計
県内	29	3	44	21	5	19	2	1	4	20	148
県外	10	4	70	5	2	16	4	5	0	25	141
計	39	7	114	26	7	35	6	6	4	45	289

(3) 奨学生数の推移

年度	貸与者数	新貸与者数		延べ人数	返還者数
		人数	内 訳		
S53	1	1	大学(4年~1)	1	
54	2	1	大学(医大6年~1)	2	
55	5	3	大学(4年~2・3年~1)	5	
56	8	3	大学(4年~2・3年~1)	8	
57	9	2	大学(4年~2)	10	1
58	14	5	大学(4年~3・3年~1) 高校(3年~1)	15	1
59	16	5	大学(医大6年~1)大学(4年~4)	20	4
60	18	5	大学(医大5年~2) 大学(4年~1・3年~2)	25	7
61	18	4	大学(4年~3・3年~1)	29	10
62	18	4	大学(4年~3・3年~1)	33	13
63	18	6	大学(4年~5・3年~1)	39	17
H元	19	4	大学(4年~3) 高校(1)	43	17
2	22	10	大学(5年~1・4年~7・2年~1) 高校(1)	53	21
3	27	10	大学(4年~10)	63	19
4	31	9	大学(4年~6・3年~2) 高校(1)	72	18
5	37	10	大学(4年~9・3年~1)	82	22
6	39	10	大学(4年~6・3年~3) 高専(3年~1)	92	22
7	36	10	大学(4年~8・2年~1) 高校(1)	102	30
8	38	10	大学(4年~6・3年~3・2年~1)	112	31
9	31	4	大学(4年~4)	116	38
10	32	10	大学(4年~9・3年~1)	126	36
11	30	10	大学(4年~7・3年~2・2年~1)	136	33
12	34	10	大学(4年~8・3年~2)	146	29
13	35	8	大学(4年~6) 高専(3年~2)	154	28
14	30	7	大学(4年~5) 短大(2年~1) 高専(2年~1)	161	35

年度	貸与者数	新貸与者数		延べ人数	返還者数
		人数	内 訳		
15	30	9	大学(6年~1・4年~5・2年~1・1年~1) 短大(2年~1)	170	35
16	29	9	大学(4年~4・2年~1) 高専(3年~2・2年~1) 高校(1)	179	30
17	30	9	大学(4年~7・3年~1) 高専(2年~1)	188	35
18	32	12	大学(4年~4・3年~1・2年~1) 専門(5) 高校(1)	200	36
19	36	13	大学(4年~5・高看1・3年~1) 短大(2) 専門(4)	213	37
20	43	15	大学(6年~1・4年~5・2年~1) 高看(3年~1) 専門(1) 高校(6)	228	36
21	36	10	大学(4年~6・3年~1・2年~1) 専門(2年~1・1年~1)	238	40
22	34	10	大学院(2年~1) 大学(4年~5・3年~1) 高看(3年~1) 短大(2年~1) 専門(4年~1)	248	41
23	28	5	大学(4年~4) 短大(2年~1)	253	47
24	25	5	大学院(2年~1) 大学(4年~4)	258	51
25	20	5	大学(4年~5)	263	49
26	19	6	大学(4年~3・2年~1) 短大(2年~1) 専門(3年~1)	269	48
27	21	5	大学(4年~5)	274	44
28	23	5	大学(4年~3・2年~1) 専門(4年~1)	279	39
29	22	5	大学(4年~3・2年~1) 専門(3年~1)	284	41
30	22	5	大学(4年~3) 短大(2年~1) 専門(3年~1)	288	41
R1	18	5	大学院(2年~1・1年~1) 大学(4年~2) 専門(2年~1)	292	45
2	13	4	大学(4年~2) 専門(2)	296	46
3	17	10	大学(7) 短大(1) 専門(2)	306	45
4	21	6	大学院(1) 大学(16) 短大(1) 専門(3)	312	39

学校紹介

社会の要請と生き抜く力を育むために



長井市立長井北中学校

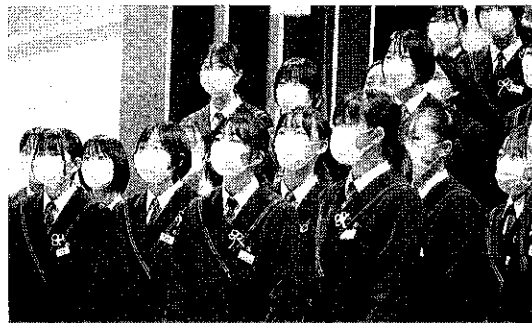
校長 迎田 浩昭

一 はじめに

この三年間で、学校を取り巻く環境は大きく変わりました。そして、子どもに求められる力も変化してきています。そこで、「コロナ禍」[SDGs]「多様性」の観点から、本校の取り組みをご紹介します。

二 コロナ禍における学校経営

- (一) 三密防止に配慮した活動の日常化
感染のまん延が懸念されるときは、保健体育、部活動そして音楽の時間には、必ずマスク着用、そして適切な距離を保つての授業展開。
- (二) 感染予防対策の徹底
検温、手指消毒、教室内の換気、大会等における観戦者の人数制限、そして体調不良時には自宅での学習奨励。
- (三) 行事等の見直し
修学旅行の日程と行き先の変更(本校では、一昨年度未実施。昨年度一泊二日の県内旅行、今年度は二泊三日の東北方面旅行)。三大行事と運動会や文化祭の内容精査と時間の縮減及びご来賓を含む来場者制限。



三 SDGsの実現に向けた学校経営

- (一) 資源の再利活用に関する意識づけ
空き缶回収と車椅子の贈呈、牛乳紙パック回収とトイレトーパーに交換しての校内での活用。
- (二) 個別最適な学びと協働的な学びに向けた授業づくり
一人一台パソコンを用いて、個の学びに応じた調べ学習、学びのまとめ、個の学びの共有化を全教科・道徳の時間等で実施。
- (三) 共生社会への貢献
コミセン活動への参画(長期休業中における小学生への学習指導、文化祭等での手伝い)、日頃お世話になっている地域施設等の清掃活動、海外たすけあいや緑の羽根募金。



四 多様性の社会実現に向けた学校経営

- (一) ジェンダー平等教育への取組
男女混合名簿等の採用(性別関係なく五十音順の名簿に則した、集会整列と、教室内の机やロッカー配置)、女子の制服にスラックスを復活(選択制による着用)、生徒会役員等の性差見直し。
- (二) キャリア教育の推進
三年生の職場体験三日間・上級学校訪問、二年生の市内高等学校訪問、一年生の長期休業中の家業体験。
- (三) 講演会の開催
創立四十年を記念し、講師に毛利衛さんを招いた南北中合同による講演会の開催。

五 むすびに

今後、社会の要請に応えつつ、確かな理念とたぎる情熱で次代を担う人材の育成を進めてまいります。